

鈴木 技術委員長

今月も引き続き経産省のプロジェクトを中心にお伝えさせていただきます。

■ 今月の活動（技術委員会）

【実証実験について】

検証内容としては、下記の3ポイントを実証実験で行っていきます。

- ・ファイル転送の高速化の技術検証
→ デジタルハリウッドのUSENの1Gbps環境を活用して、AsperaとSkeedのファイル転送高速化の環境を構築しました。
 - ・Aspera : <http://www.netmarks.co.jp/product/aspera/aspera.html>
→ Asperaは、映画「AVATAR」においても活用されています。
 - ・Skeed : <http://www.skeed.co.jp/tech/skeedsilverbullet/>
→ Skeedも、技術的にはAsperaと同じUDPによる転送で高速化しています。
- ・仮想マシンと実マシンでのパフォーマンス比較
 - ・VMware EXSiを使って、実マシンと同じ環境のマシンを構築して比較する予定です。
- ・ネットワーク越しのレンダリングリソースの管理
 - ・実証実験により、IPv6の問題、ローカルの環境とは異なるレスポンス反応など

参考資料：Aspera 映画「AVATA」事例

<http://www.netmarks.co.jp/product/aspera/JamesCameronAvatarMovie.pdf>

参考資料：Skeed Silver Bullet

<http://www.skeed.co.jp/tech/skeedsilverbullet/feature.html>

【活動について】

毎週月曜日に、週報告会をボーンデジタルの会議室をお借りして行っています。

ボーンデジタルの渡辺さんを中心に、アンケート調査も行って頂いています。

News！ クラウドレンダリングだけで制作しているスタジオ発見！！

2012.12.04に行われた、The Foundry Winter Tour 2012 Tokyoのセミナーで、講演されたAtomic Fictionが、社内に一切レンダリングマシンを持たない環境で制作されているという話がありました。

CloudサービスのZYNCを使って、Amazon EC2で計算しているという事を掲載しています。

<http://atomicfiction.com/cloud/>

参考資料：The Foundry Winter Tour 2012 Tokyo

<http://www.borndigital.co.jp/seminar/1302.html>

参考資料：ZYNC

<http://www.zyncrender.com>

会社紹介

CPO-JPのメンバーをより知って頂く為に、会社紹介として今回は「株式会社 スタジオディーン」をご紹介します。

株式会社スタジオディーン

はじめまして、スタジオディーンの宮本と申します。
弊社スタジオディーンのご紹介をさせていただきます。

創立したのは、1975年でもうすぐ38年になります。
創業者は、長谷川洋と申します。
長谷川は、日本サンライズ(現サンライズ)様から独立して、弊社を立ち上げました。
弊社の名前は、最初に受注した作品「勇者ライディーン」からとっております。
古くは、サンライズ様と、シンエイ動画様からの作品を制作しており、1994年代から直接受注できるようになりました。

2000年代より、作業工程の一部のデジタル化を行い、作業環境、作業工程の一新をはかり、社内留保、作業の効率化をはかっております。フィルムで制作していた頃に比べて、品質的な精度を上げることができ、CG、VFXとの合成も簡易に出来るようになりましたが、一定の効率化をはかれた一方、作業に使用するPC機材やアプリケーションなどの費用が大幅にかかることが、デメリットです。

現在のテレビアニメーションの状況は、大変厳しいものになっております。
広告収入に低下から、高コストであるアニメーション枠が少なくなっております。
(前会報のスタジオ雲雀様のご紹介記事のなかにも既にご報告済みです)

アニメーション会社としては、より高い効率化、高精度化を行い、他社にはない品質に差別化が必要となります。弊社としては、個々の会社の努力で行う部分と、考えが同じ会社との連携できる部分を切り分け、新しい環境構築したく、この機構に参加しております。

- ・個々の会社での努力とは、オリジナリティの高い作業を指します。
- ・それ以外の、共通できる作業に関しては、多くの会社との連携ができる部分になります。

CPO-JPは、CG業界の会社様以外にも、様々な業種の方たちにも入っていただいております、問題解決の為にアイデアがでてくる(だせる)団体に育っていくのではないかと感じております。



現在の弊社が制作しております作品ご紹介いたします。

- ・劇場版 薄桜鬼
- ・ぬらりひよんの孫
- ・八犬伝
- ・ひぐらし鳴く頃に オリジナルビデオ
- ・緋色のかけら
- ・ヘタリア 5thシーズン

弊社は、TVアニメーションのみならず、様々な事業を展開しております。

- ・VOCALOID ヤマハが開発している歌声合成ソフト、「蒼姫ラピス」のキャラクター展開
- ・オリジナル企画「メガネブ！」メガネ男子高校生の日常を描いたラジオドラマ
- ・GREEにて、SNSゲーム「吉祥寺アニマル男子寮」展開中
- ・AR技術を利用したコンテンツ制作と興行。

来年、上記以外の新規事業を企画しており、公開していきます。

30数年来、コンテンツを制作してきた実績を根っこに、アニメーション事業とその他の事業に取り組んでいきます。

よってこれからCPO-JP の各社様と協業できる案件があると思われます。

今後ともよろしくお願いします。

編集後記

事務局より来年5月までの会議予定です。

来年5月までの会議予定

1月18日（金）運営委員会	16:00～	デジタルハリウッド 6F
2月15日（金）理事会	16:00～	同
3月15日（金）運営委員会	16:00～	同
4月19日（金）運営委員会	16:00～	同
5月24日（金）理事会・総会	16:00～	同

注）日時、場所等の変更が有りますので、適時開催予定の確認をお願いします。

12月運営委員会の様子



ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。

編集責任者 専務理事 小山 昌孝

日本コンテンツ振興機構 吉祥寺オフィス
〒180-0003 東京都 武蔵野市 吉祥寺南町 4-4-13

TEL : 0422-35-3305
FAX : 0422-70-3032